

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	小野寺 伶夢	学校名	習志野市立藤崎小学校
実施学年	1学年	教科	生活科
単元名	小学校1年生活科「あきとなかよし」		

《学びを深めたいポイント》

- ・本時は、さつまいもの収穫前の最後の観察の時間である。収穫ができる状態とは、最初の苗と比べてどのくらい成長しているのか、どこが変わっているのかなどしっかりと視点をもって観察してほしい時間である。
- ・アサガオの観察時は、定型の用紙にイラストとわかったことを書いていたが、今回は、写真を撮って自由に気づきを記入させていく。
- ・共有を通して、自分と同じ気づきや、自分は気付かなかったことなど、他の人の意見にたくさん触れさせていきたい。そういった見方もあるんだと気付かせて、次の観察に役立てていけるように指導していきたい。

《SKYMENU 活用のポイント》

- ・発表ノートで、めあてだけが書かれたノートを配布する。そのノートに、撮ってきた写真を添付して直接そのノートに気づきを書いていく。手書きや打ち込み、必要であれば矢印なども使って書くようにさせる。
- ・イラストを描いて観察をしてきたが、絵が得意でない子はよい気づきや発見をしても、友達にうまく伝えられていなかった。今回は写真を使うので、そのような子たちも線を引いて自分の気づきや発見をしっかりと記入できる。
- ・全体の共有として、まずは提出箱を公開する。自分のノートが完成した児童は、クラスの人々のノートをじっくり見るようにさせる。発表の前に、全体で、ほかの人のノートを見る時間を確保していく。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	1 めあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">しゅうかくまえのサツマイモをかんさつしよう。</div>		
展 開	2 写真を撮りに行く。 タブレットを持ち、畑に写真を撮りに行く。		
	3 発表ノートで観察カードを書	・「発表ノート」を使って、自分の気付	・色を使ったり、線を引いたりな

	<p>く。 撮ってきた写真を添付して、自分の好きに書き込む。 (図や矢印、文字など)</p>  <p>4 共有する。 提出箱を開き、他の人の作品カードを見る。</p> 	<p>きを書かせる。添付した写真に、直接書き込んだり吹き出しを付けたりなど、自分のオリジナルの観察カードにしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出箱を公開し、提出が終わった子は他の人のノートを見るようにする。 ・自分と似ている発見や、自分が気付かなかった発見がないか等声掛けする。 ・発表している児童のノートを大型モニタに提示し、全体に意見が伝わりやすくする。 ・同じ意見や似ている意見も、提出箱の中からすぐ探すことができ、すぐに提示できる。 	<p>ど自分の好きに書くことができるので、意欲的に取り組むことができる。</p> <p>・普段の観察カードでは、絵が得意でない子も写真を使うことで、自分の気付きを表現しやすくなる。</p>
ま と め	5 振り返りをする。		

《実践を振り返って》

タブレットを配布して約2か月ではあるが、子どもたちは少しずつ操作方法を身に付けることができていると感じます。実践時は、SKYMENU も1度触れただけで、発表ノートの書き方や提出の仕方もすぐに覚えられる子が多かったです。写真の添付は、本時で初めて教えたが、多くの児童が理解できていたのでよかったです。事前にもう少し SKYMENU を使えていれば、SKYMENU のカメラを使用して行いたかったです。タブレット本体にあるカメラアプリを操作するのも一苦労な子にとっては、新しく覚えることが多すぎても身につかないので、少しずつ教えていきたいと思います。そして、今後はカメラもノートも SKYMENU で行うことで、よりスムーズに活動できるようにしたいです。

共有・発表の場面では、提出されたクラスみんなのノートを見ることに興味をもって取り組むことができていました。もう少し慣れていれば、もっと細かく観察カードを作れた子もいたと思いますが、現段階ではよく観察して取り組むことができていると感じます。

これからは、他教科でも様々な機能・アプリ等を使用し、操作に慣れさせていきたいです。ローマ字を覚えるのはまだ時間がかかりますが、基本操作を覚えるのは使った分だけ身に付くと思うので、タブレットを使用する場面をたくさん用意していきたいです。